

# ひろば大代

NO.178

大代公民館

平成六年度大代公民館の

重点事業計画について

大代公民館長 渡 吉正

大代公民館における平成六年度の社会教育方針―実践目標は「ひろば一七号」に掲載しましたので、それを踏まえて次の事項を重点事業として取り組んで行きたいと思えます。

町民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

「重点事業」

1、老人を惹き込み、郷土史の研鑽を積んで伝統、風俗、習慣、技術の伝承をはかる

ア老人との対話と会食の励行

イ郷土史『大代町誌』の調査編集企画

ウ文化財や伝統芸能の保存保護

2、若者とのコンセンサスを心得て町の活性化をはかる

イ町の三大祭を行事化して町を挙げて祭を盛大にする

ロ盆踊り保存会を結成する（新屋地

区)の盆踊りを復興する)

ハ高山登山など「歩け歩け運動」を奨励する

ニ運動会や文化祭を盛大にする

(テーマをつくって実施する)

3、都市交流事業内容を見直し、郷土

愛の再生をはかる

イ都市在住の方々への交流を通じて

郷土の旬(例産物)を都会地へ送る

ロ年代別のイベントを考案企画

(杜寺や遺跡巡り、郷土史の講演会など)

4、挨拶運動を展開して、明るく住み

よい町づくり

親しみのある方言の奨励、方言の番

付表を作製する(学校や団体へ呼び

かける)

5、花いっぱい運動の継続

全戸へ花いっぱい運動を呼びかける

(全戸へ苗や種を配布して、町全体

を花いっぱいとする)

二期目を迎えて

連合自治会長 高村 貢

新年度公民館は田辺館長さんの後任

渡館長さんを迎え、又連合自治会も半

数以上新しい人でスタートを致しまし



た。私こと連合自治会長を引き続き受ける事になりましたが、山積みする諸問題を前に責務の重大さをひしひしと感じておりますが、微力ながら精一杯努力いたす覚悟です。よろしくお願ひ申し上げます

今年も各自治会長十六名を軸にみんなで話し合い、協力しながら町民一体となり、大田市最西南端の「大代」を護りたいと思えます。

町民皆様と県外の町内出身者皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

公民館運営委員長として

運営委員長 日向高弘

公民館長が渡さんに代わられて、それに伴って運営委員のメンバーもかなりの変更がありました。私は引き続き皆様のお世話になることとなりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

その上に、その任にあらずと固辞しましたが、運営委員長という重責までもお任せつかってしまいました。

もとより私にそのような実力などないことは、自分自身が一番良く知っております。若いうちに少しでも多

くの経験を積ませてやろうという皆さんの暖かいご配慮により引き受けることとなりました。重ねてよろしくお願ひ致します。

大代公民館の活動は、大田市においてトップクラスであると思いますが、それは町民の皆様のご協力があればこそであります。館長、主事、運営委員一同心も新たに頑張りたいと思いますので、変わらぬご協力をお願い致します。

社会福祉協議会

の担当になって思うこと

社協大代支部長 笹木光夫

これからの大代町にとって社協の活動が非常に重要であることを痛感しました。

町内における社協組織の確立

去る五月十三日に大田市社協の評議員会に出席して感じたことを記して、今後の社協の目標としたいと思ひます。

(1)社会福祉協議会のめざす目標



高齢者が安心して生活できる諸サービスの開発と障害者が生活しやすい環境づくりや安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。

※資源整備―生活圏に密着したサービス、支援体制を開発、実施、提言します。

※参加―皆で支え合い、学びあい、誰もが福祉活動に参加する社会をめざします。

※まちづくり―地域のあらゆる機関、団体と協同して計画的に「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」に取り組みます。

(2)社会福祉協議会らしい活動の展開をするために活動のスタイルを一新します。

イ住民参加を徹底します。  
ロ民間性を発揮した福祉サービスの企画開発、実施に努めます。

ハあらゆる団体、組織との協同活動をすすめます。

ニ地域福祉推進の専門技術活用をすすめます。

以上が大田市社協で討議された一部です。大代町にとって大事なことは社協力の組織の確立だと思います。目標の一つでも出来れば幸いと思ひます。町民の皆さんの力強い御協力と御指導をお願い致します。

戦争についての

記録を残そう

編集委員 市原仁郎



来年八月十五日は、太平洋戦争敗戦五十周年の記念すべき日になります。

「戦争を知らない子供達」が社会の中堅を担い、指導的立場にある現在、戦争の経験を持つ人達が年々少なくなっています。私自身は旧制中学三年の時、松江で家屋疎開の最中に陛下の玉音放送を聞いた者です。

新生党の羽田政権が発足してから十日目に、永野法相が「南京大虐殺はでっちあげ」発言の責任をとり辞任に追い込まれる事態が起きました。全くのお粗末、諸外国に対して恥ずかしい限

りです。山陰中央新報の五月八日の一面の下端「明窓」欄は、「残虐行為が実際にあり、旧植民地の人々に多大な犠牲を強いたのは紛れもない事実だ。この罪は後代がどこまでもあがなっていかななくてはならない。民族としての責任である。」と言っています。

戦争に参加された方、遺族の方、学徒動員の方、銃後で苦勞された方等、多くの方々の戦争についての想い、記録を残すことは私達の世代の義務であると考えます。公民館の社会教育、生涯教育の一環として把えることもできましよう。

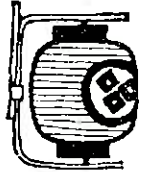
大代町民の皆様や東京石見高山会、関西高山会の皆様、そして戦争を知らない世代の皆様にも「民主主義と自由を守る」立場からは非この企画にご参加下さい。

館報の平成四年九月号の下飯谷・高村春美氏の「終戦日を迎えて想うこと―戦争のおろかさ―」平成五年八月号の山田・渡淳氏の「被爆体験は平和の原点」等既に発表して来ておりますので、多数の手記を投稿下さる様お願い致します。

## 郷土史紹介

## 「八重山神社略記」

山田 渡 淳



大代町新屋字山田長尾の地に所在する遙拝所に安置されている八重山神社の祭神は、天照皇大神、伊邪那美命、健甕須佐之男神、速玉之男神、豫母洋事解之男神、神大市比売命、大山祇神、大歳御祖神の八柱の神で、家内安全、病氣平癒、五穀豊饒はもとより特に牛馬の守護神として崇敬されてきた。

例祭は七月一日で泥落しを兼ねて祭が行われ、昔は田植囃子が奉納され、子供の奉納相撲もあり賑わったことを記憶している。殆どの農家は牛を飼ってお供えした笹の葉を持ち帰り牛にたべさせ元気に育つことを願った。

八重山神社は明治三十三年五月一日久具和田宗一郎氏の発願により同氏を願主とし、山田渡藤三郎氏を地主願主として広く社員を募集し講社として発足し、地主願主の所有地長尾山を選び社殿を建設し、旧飯石郡波多村大字入間八重山の鷲尾山に鎮座の本社八重山神社より御分霊を得て専ら牛馬の神として尊崇し、五月一日例祭を行って来

た。

其の後、元八代小学校の奉安殿建築に当り社殿を小学校の南に移転した。大戦下荒廃も激しく、昭和二十一年十月一日原屋敷に改築移転し、更に二十七年現遙拝所に安置し、組織も講社から新屋地区尊宗社に改め今日に至っている。

## 「本社八重山神社の由来」

本社八重山神社は、飯石郡掛合町入間にある標高六七三米の八重山の鷲尾山に鎮座する元村社、天照皇大神、健甕須佐之男神等八柱の神を奉祀する神社で、祭日は四月十三日、須佐之男命の旧跡として須佐神社より古く、古来須佐国造火継社として、須佐神社宮司がこの社に参籠して忌火を継ぐならわしがあったと伝えられている。

往古より牛馬の守護神として崇敬され、広く出雲、石見はもとより広島、岡山よりの参拝者が多い。

八重山の東側に高さ百五十米の鷲尾という岩窟があり、岩腹に宮がある。神代の昔、鷲尾の猛という怪神が此の岩窟に住み、金鶏を使い、雲霧に乗

って近郷を征服し、良民を苦しめていた。

須佐男命は斐伊川の八岐の大蛇を退治し、大宮所を定めんと、国巡りして此の地に來られた時、其の雲霧の中に一種異様な気配を感じ、鷲尾猛の住む岩穴をめがけて矢を放たれると、猛は大いに驚いて降参した。

命は、此の所小さき国なれど良き處といわれて、岩穴に、御姉天照大神と御母神伊邪那大神を始め諸神を鎮座せられ、後に須佐に行幸されたと伝えられている。

神社への途中には名瀧八重瀧や千本杉等の名所もある。先々が参拝し分霊を得た由緒ある足跡を、是非訪ねてみたいものである。



NHKあなたの子守歌作品  
「海と山のふる里」 準備秀作品

作詞 原田萬里 (飯谷出身)

一、今日は おじいさんだよ

私の生まれはな 遠い山の里

高い高い お山があるんだよ

ホラ 兎ちゃん飛び出した

ラララー ラララー山のふる里

二、今日は おじいさんだよ

私の生まれはな 遠い山の里

広い広い 野原があるんだよ

ホラ 蝶々がお花にとまった

ラララー ラララー山のふる里

三、今日は おばあさんだよ

私の生まれはな 遠い海の里

青い青い 海があるんだよ

ホラ お魚が泳いでる

ラララー ラララー海のふる里

四、今日は おばあさんだよ

私の生まれはな 遠い海の里

深い深い 海があるんだよ

ホラ 白いお船が浮かんでる

ラララー ラララー海のふる里

五、今日は 幼き君たちよ

遠く離れて 住んではいても

電話でお話 上手だね

ホラ 遠いお国が見えるでしょう

ラララー ラララー君のふる里

六、今日は 幼き君たちよ

遠く離れて 住んではいても

風がやさしく 頬なでるよ

ホラ お日さまがわらってるよ

ラララー ラララー君のふる里



第三回関西高山会

総会への参加者募集

大代高山会々長 渡 吉正

〔開催日時〕六月十二日(日)

午前十一時〜午後三時頃まで

(開会三十分前には会場到着のこと)

〔場所〕大阪市北区万歳町

(浪速ビル9階)中華料理店「新北京」

☎〇六〇三二二一〇八七一

(地下鉄中崎町3番出口、梅田東モータープール付近)

〔旅費〕自己負担(マイクロバスでの往復も考慮中)

総会へのご出席を希望される方は五月二十五日(水)までに大代公民館へ申し込んで下さい。

\*\*\*\*\*5月の行事\*\*\*\*\*

◆12日(木)結核検診

◆22日(日)福祉弁当

◆30日(月)都市交流会理事会

おしらせ

◆社協大代支部より

右原 蔵光良広 様から

本郷 二又治三 様から

香典返しに替えて金一封の御厚志を

御寄付頂き厚く御礼申し上げます。